

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公開番号】特開2006-23283(P2006-23283A)

【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2005-146036(P2005-146036)

【国際特許分類】

G 0 1 N 19/10 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 19/10 Z

G 0 3 G 15/00 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シート材に含まれている水分量を取得する水分情報取得装置において、
シート材に外力を付与するための外力付与部と、
シート材を介して外力を受けるための外力受け部と、
外力付与部側または外力受け部側の少なくとも一方に位置し、該シート材の機械的特性を反映した信号を出力するための信号出力部と、
前記信号出力部からの信号に基づき、該シート材の水分量を取得する水分情報取得部と、
を有し、
前記水分情報取得部は、前記シート材の水分量と前記信号出力部からの信号との関係を記憶した記憶部におけるデータと、前記信号出力部からの信号とを比較して、前記シート材の水分量を取得することを特徴とする水分情報取得装置。

【請求項 2】

前記外力付与部は、前記シート材に複数回の外力を付与することを特徴とする請求項 1 記載の水分情報取得装置。

【請求項 3】

前記外力受け部と前記シート材との距離を一定にするために、前記シート材の位置を規定する位置規定手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の水分情報取得装置。

【請求項 4】

前記外力付与部による前記シート材への外力付与によって、前記シート材が撓むことにより、前記シート材と前記外力受け部とが接触し、前記信号出力部から信号が出力されることを特徴とする請求項 1 記載の水分情報取得装置。

【請求項 5】

前記シート材に対して、衝撃受け部側に設けられている凹部あるいは溝部で前記シート材は撓むことを特徴とする請求項 4 記載の水分情報取得装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の水分情報取得装置と、前記シート材に画像を形成

するための画像形成部とを備え、前記水分情報取得部からの情報に基づき、前記画像形成のための条件を定めることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の水分情報取得装置と、前記シート材に画像を形成するための画像形成部と、前記シート材を搬送するための搬送手段とを備え、前記水分情報取得部からの情報に基づき、前記シート材を搬送するための搬送条件を定めることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るシート材に含まれている水分量を取得する水分情報取得装置は、シート材に外力を付与するための外力付与部と、シート材を介して外力を受けるための外力受け部と、外力付与部側または外力受け部側の少なくとも一方に位置し、該シート材の機械的特性を反映した信号を出力するための信号出力部と、前記信号出力部からの信号に基づき、該シート材の水分量を取得する水分情報取得部と、を有し、前記水分情報取得部は、前記シート材の水分量と前記信号出力部からの信号との関係を記憶した記憶部におけるデータと、前記信号出力部からの信号とを比較して、前記シート材の水分量を取得することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】